

部 道徳科学習指導案

授業者：●● ●●

1 取り上げる人権課題 「高齢者」

2 取り上げた人権課題の背景と現状

我が国では、人口のほぼ4人に1人が65歳以上の高齢者となっている。こうした状況の中、高齢者に対する就職差別、介護施設等における身体的・心理的虐待等といった人権侵害が問題となっている。

子どもたちの身近な高齢者は祖父母などの家族であり、自分を無条件に愛してくれる祖父母に対して自己中心的なかわりが見られる。今後、地域の高齢者の方とかかわる際、相手の立場になって考え、思いやりの心をもってかかわることができるようにしていきたい。

3 児童の実態

A児	B児	C児	D児
「おじいさん」「おばあさん」という言葉を理解している。高齢者とのかわりはあまりない。	祖母とかかわりがある。仲間とのかかわりを基に、咳をした祖母に「大丈夫。」と声をかけることがある。	祖父母とかかわりがある。自分と高齢者の違いを見た目で理解している。「おじいさん、遅いな。」と、急かす姿が見られる。	祖父母とかかわりがある。自分と高齢者の違いを見た目で理解している。祖父母が腰痛のときに、「大丈夫。」と声をかける姿が見られる。
E児	F児	G児	
祖父母とかかわりがある。「おじいさん」「おばあさん」という言葉を理解している。祖母に甘える姿が見られる。	祖母とかかわりがある。自分と高齢者の違いを見た目で理解している。「おばあちゃん、速く来て。」と、急かす姿が見られる。	祖父母とかかわりがある。祖父母は自分をかわいがってくれる相手だと理解している。	

4 指導改善の手立て

- ・事前に行った高齢者疑似体験を想起することで、体験で気付いた生活上の困難を基に、高齢者の方の立場になって表情や動作から気持ちを考えることができるようにする。
- ・ロールプレイを行うことで、自己中心的な考えによって高齢者の方を傷つけていることに気付いたり、高齢者の方の立場になって考えたりすることができるようにする。

5 事前・本時・事後の指導構想

〈児童の活動と指導・援助〉	〈児童の意識〉
〈事前〉 ・高齢者疑似体験をすることで、生活上の困難に気付くことができるようにする。	・音が聞こえにくいし、小さい文字が見えにくいよ。 ・速く歩けないし、重たいものを持つことも大変だよ。
〈本時〉 道徳「かいだんであった おばあさん」	
〈事後〉 ・相手の立場になって考えたことを実践することで、家族や地域の高齢者に思いやりの心をもってかかわることができるようにする。	・おじいちゃん、おばあちゃんががにこにこになってくれてうれしいな。 ・他のおじいちゃん、おばあちゃんもにこにこになってほしいよ。